

平成30年度(2018年度)

環境活動レポート

エコアクション21

(活動期間 平成30年4月～平成31年3月)

有限会社 プライムクリエイト

作成日 令和元年7月31日

組織の概要

事業所名	有限会社 プライムクリエイト		
代表者名	代表取締役 大木 清実		
所在地	茨城県水戸市大塚町247-1		
連絡先	Tel 029-255-3335	Fax 029-254-6080	
	URL http://www.primecreate.com	E-mail info@primecreate.com	
事業内容	廃棄物の収集運搬業務		
設立年月日	平成3年11月19日		
資本金	1,300万円		
売上高	540.8 百万円 (平成29年度)		
従業員数	20 人		
延床面積	329平方メートル(事務所 162平方メートル)		
駐車場面積	1,535平方メートル		
保有運搬車両	18台		
	2tパネル車	1台	2tクレーン車 1台
	3tパッカー車	1台	3tクレーン車 2台
	4tパッカー車	1台	4t平ボディ車 1台
	4tアームロール車	5台	3tクラム車 1台
	10tアームロール車	3台	6tクラム車 1台

保有許可

【産業廃棄物収集運搬業】

都道府県 市町村	許可年月日 有効年月日	燃 之 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	陶 磁 器 く ず	ガ ラ ス く ず・ コ ン ク リ ー ト く ず 及 び	が れ き 類	ば い じ ん
茨城県	00801025295 平成26年12月8日 平成31年11月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県	0900025295 平成26年8月27日 平成31年8月26日	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
千葉県	01200025295 平成26年12月17日 平成31年11月24日		○	○			○	○	○	○	○		○	○	○	○	
埼玉県	01107025295 平成29年2月15日 平成34年1月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
福島県 平成28年9月14日 平成30年8月5日	00707025295 平成30年8月30日 平成35年8月5日	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○	
宮城県	00400025295 平成30年8月8日 平成35年8月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【特別管理産業廃棄物収集運搬業】

都道府県	許可番号 許可年月日 有効年月日	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産 業廃棄物	廃石綿等
茨城県	00851025295 平成27年12月25日 平成32年11月9日	○	○	○	○	○
栃木県 平成25年11月14日 平成30年11月13日	00950025295 平成30年11月14日 平成35年11月13日	○	○	○		
宮城県	00450025295 平成30年8月8日 平成35年8月7日	○	○	○		

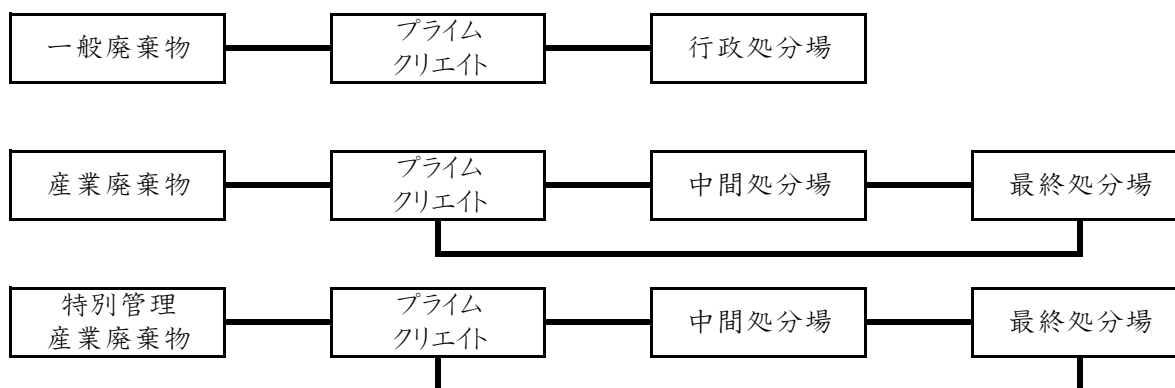
【一般廃棄物収集運搬業】

市町村	許可の年月日	許可の有効年月日	許可番号
水戸市	平成30年4月1日	平成32年3月31日	指令第136号
常陸大宮市	平成30年3月25日	平成32年3月23日	指令第17号
那珂市	平成30年3月25日	平成32年3月23日	指令第180号

事業計画の概要

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業務において、事業者の分別排出の協力を得て、再資源化のために可能な限りの分別回収・運搬に努めます。

廃棄物の流れ



受託した一般廃棄物処理量

平成30年4月～平成31年3月 総処理量	471.7 t
那珂市・常陸大宮市	140.4 t
水戸市	331.3 t

受託した産業廃棄物処理量

平成30年4月～平成31年3月 総処理量	12,832.8 t
木くず	2,857.2 t
廃プラスチック	1,405.8 t
がれき類	812.0 t
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	3,216.8 t
混合廃棄物	3,709.2 t
その他の産業廃棄物	831.8 t

受託した特別管理産業廃棄物処理量

特別管理産業廃棄物	125.2 t
感染性	50.1 t
廃油	75.1 t

対象範囲(認証・登録範囲)

有限会社 プライムクリエイト

茨城県水戸市大塚町247-1

廃棄物の収運にかかわる業務の全組織・全活動を対象

レポートの対象期間

期間 平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

レポートの作成日

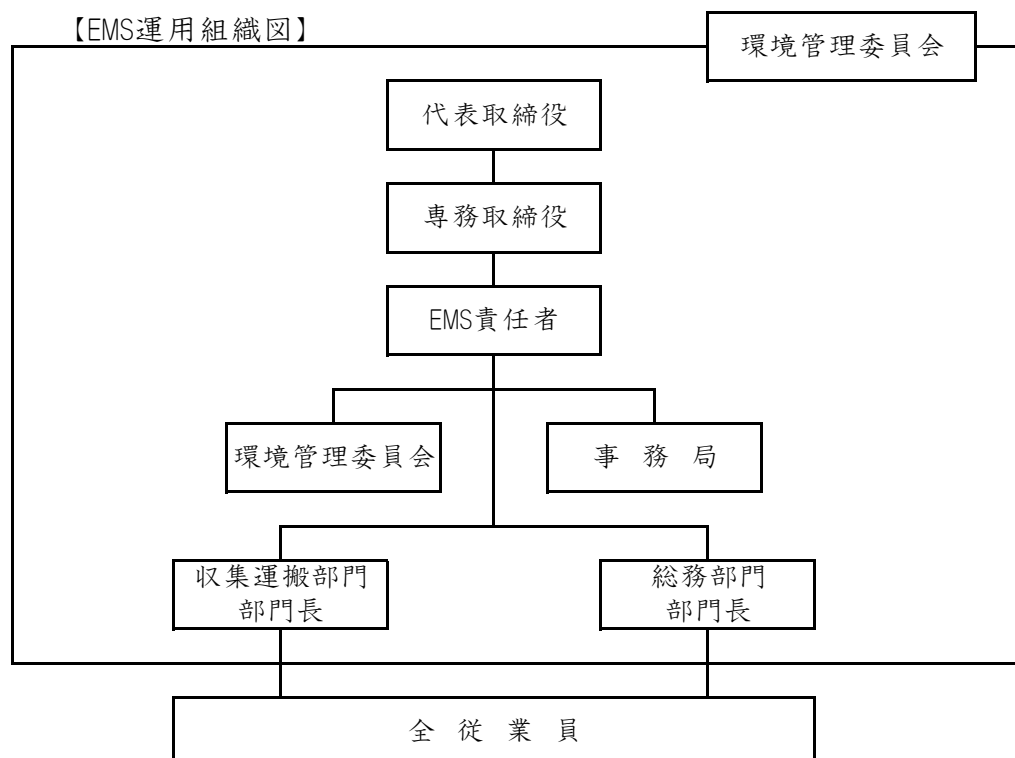
令和元年7月31日

環境保全関係の責任者及び担当者

EMS責任者 助川 健

事務局 新原 晋

EMS実施体制



環境方針

基本理念

有限会社プライムクリエイトは、廃棄物の収集運搬業務を行うにあたり循環型社会システムの構築に貢献することを目的とし、環境への負荷を削減し地球環境の保全に積極的に取り組むために以下の方針を定め、実施し、維持します。

基本方針

1. 環境関連法規等を遵守し、環境汚染の防止に努めます。
2. 環境負荷の削減のため以下の活動に積極的に取り組みます。
 - 温室効果ガス排出量の削減
 - 廃棄物発生量の削減
 - 排水量の削減
 - グリーン調達
 - 産業廃棄物排出事業者への分別排出の推進
3. 全従業員の環境に対する意識の向上を図るため環境教育を実施します。
4. 環境マネジメントシステムの維持向上のため継続的な改善に努めます。
5. 環境方針は全従業員に周知徹底し、一般の人々にも開示します。

平成26年9月10日 改定
有限会社 プライムクリエイト
代表取締役 大木 清実

環境目標

目標項目	基準値(29年度実績)	30年度目標	31年度目標	32年度目標
二酸化炭素排出量削減	395,674kg-CO2	395,719	395,683	395,647
		100.01 %	100.0%	99.99%
軽油	大型車両 燃費 3.88km/ℓ	3.89km/ℓ	3.90km/ℓ	3.91km/ℓ
		+0.01km/ℓ	+0.02km/ℓ	+0.03km/ℓ
中型車両	燃費 6.59km/ℓ	6.60km/ℓ	6.61km/ℓ	6.62km/ℓ
		+0.01km/ℓ	+0.02km/ℓ	+0.03km/ℓ
ガソリン	5,970.0 ℓ	6,000.0 ℓ	5,990.0 ℓ	5,980.0 ℓ
		※1	-10.0 ℓ	-20.0 ℓ
灯油	180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ
		100.0%	維持管理	
電気	18,150.3 kWh	18,124.0 kWh	18,099.0 kWh	18,074.0 kWh
		※2	-25.0 kWh	-50.0 kWh
社内廃棄物(可燃物) 排出量の削減	142.5 kg	141.5 kg	140.5 kg	139.5 kg
		-1.0 kg	-2.0 kg	-3.0 kg
排水量の削減 (水道使用量)	339.2 m ³	435.0 m ³	455.5 m ³	455.0 m ³
		※3(456.0m ³)	-0.5 m ³	-1.0 m ³
グリーン購入 (コピー用紙)	90.0%	90.5%	優先購入を継続	
受託した産業廃棄物の 混合廃棄物割合の削減	27.7%	29.0%	28.8%	28.6%
		※4		

※1 営業拡大によるガソリン使用量増加見込のため30年度を基準値とする

※2 29年度目標未達成のため継続、30年度を基準値とする

※3 原則稼働車両は洗車となり目標変更、30年度目標を基準値(456m³)とする

※4 混牌割合増が予想されるため30年度目標を基準値とする

受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合 混廃量÷産廃量＝混廃割合(%)

この目標での産廃量とは (紙くず・木くず・廃プラスチック・がれき類・金属くず・ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず・コンクリートがら)+(混廃)としています。

環境活動計画

- 1) 二酸化炭素排出量の削減
 - 軽油 - 過度な速度での走行禁止
 - ガソリン - 一定速度での走行を心掛ける
 - 灯油 - ストープ使用時の扇風機の使用(空気循環)
 - 電気 - 使用していない照明の消灯
- 2) 社内廃棄物排出量の削減
 - 使用済み用紙の資源排出
- 3) 排水量(水道使用量)の削減
 - 効率の良い洗車
- 4) グリーン購入
 - コピー用紙グリーン商品の優先
- 5) 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減
 - 排出事業者への分別排出の勧め

環境目標の実績

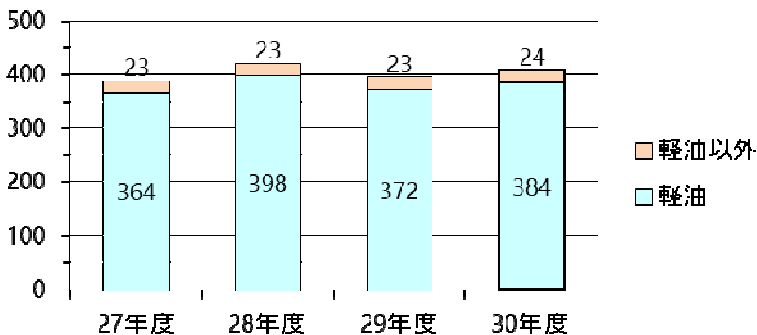
1) 二酸化炭素排出量の削減

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度目標
二酸化炭素(kg-CO2)	387,005	420,990	395,674	408,766	395,719
前年度実績比	105.7%	108.8%	94.0%	103.3%	100.0%
軽油 kg-CO2 = 0 × 2.62434	138,814 0	151,809 0	141,856 0	146,490 0	141,856 0
ガソリン kg-CO2 = 0 × 2.32166	5,437 0	5,586 0	5,975 0	6,139 0	6,000 0
灯油 kg-CO2 = 0 × 2.49193	180 0	180 0	180 0	196 0	180 0
電気 排出係数 kg-CO2 = kWh × 係数	18,150 kWh 0.531	18,163 kWh 0.505	18,150 kWh 0.500	19,171 kWh 0.500	18,124 kWh 0.500
	9,638	9,172	9,075	9,585	9,062

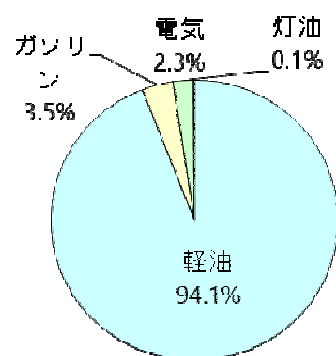
※ 29年度目標の軽油は燃費を目標にしているため28年度実績で算出

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度目標
大型車両燃費	3.85km/0	3.78km/0	3.88km/0	3.83km/0	3.89km/0
中型車両燃費	6.75km/0	6.76km/0	6.63km/0	6.51km/0	6.60km/0
全車両燃費	5.72km/0	5.50km/0	5.37km/0	5.28km/0	

二酸化炭素排出量(t-CO2)



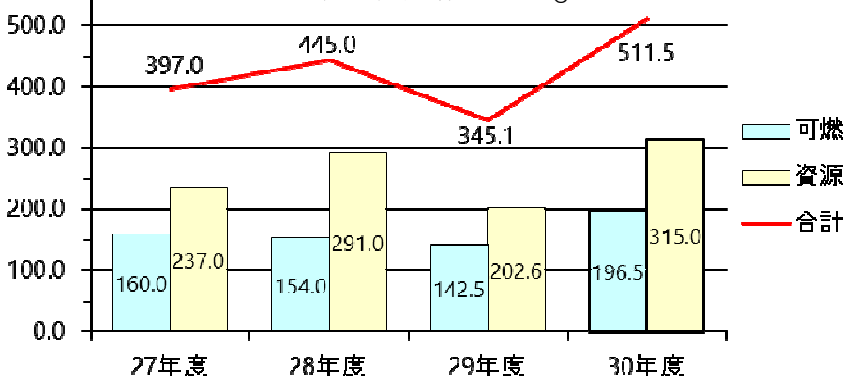
二酸化炭素排出量割合



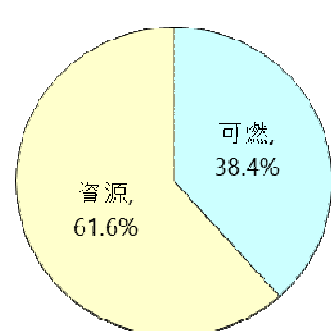
2) 社内廃棄物排出量の削減

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度目標
可燃物排出量 前年度比 割合	160.0kg 88.9%	154.0kg 40.3%	142.5kg 96.3%	196.5kg 41.3%	141.5kg
資源物排出量 前年度比 割合	237.0kg 85.8%	291.0kg 59.7%	202.6kg 122.8%	315.0kg 65.4%	割合60%以上 (212.3kg)
社内廃棄物合計 前年度比	397.0kg 87.0%	445.0kg 112.1%	345.1kg 77.6%	511.5kg 148.2%	(353.8kg)

社内廃棄物排出量(kg)



社内廃棄物排出量割合



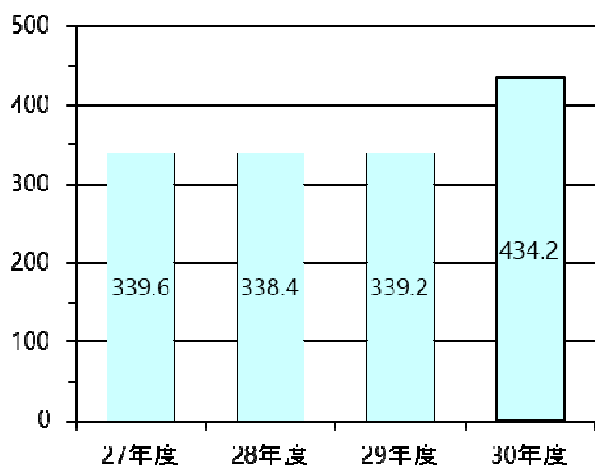
3) 排水量(水道使用量)の削減

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度目標
水道使用量	339.6 m ³	338.4 m ³	339.2 m ³	434.2 m ³	435.0 m ³
前年度実績比	101.9%	99.6%	100.2%	128.0%	(456.0m ³)

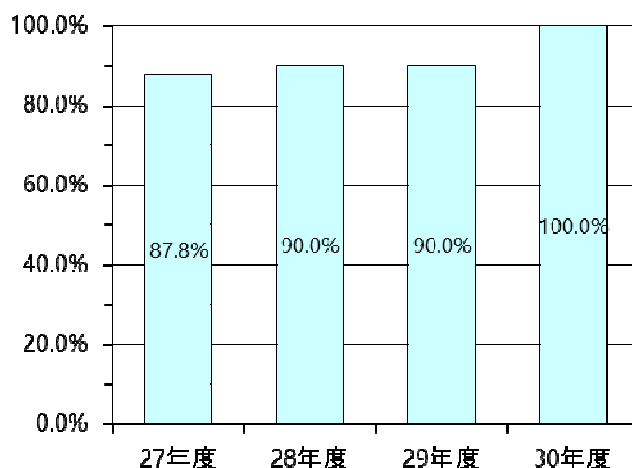
4) グリーン購入

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度目標
グリーン商品購入割合	87.8%	90.0%	90.0%	100.0%	90.5%

排水量=使用料 (m³)



グリーン商品(コピー用紙)購入割合

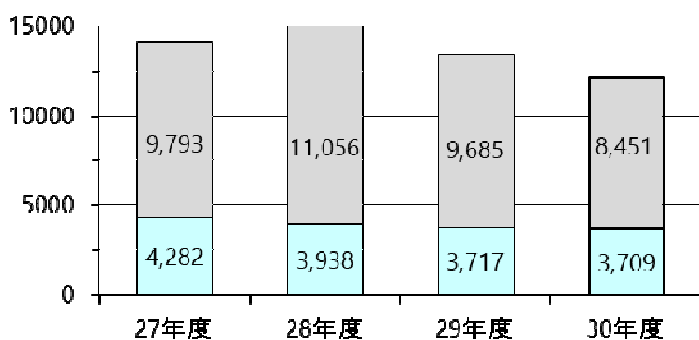


5) 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減

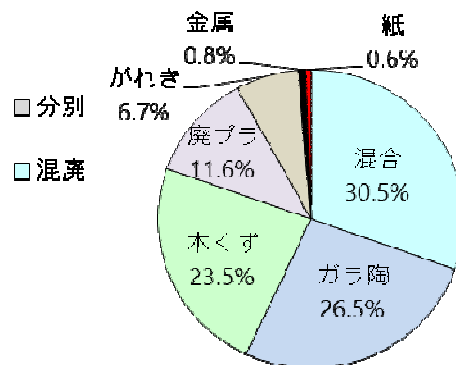
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	30年度目標
混廃割合 (混廃量÷産廃量)	30.4%	26.3%	27.7%	30.5%	29.0%
産廃量	14,074.5 t	14,993.4 t	13,401.8 t	12,160.2 t	
前年度実績比	94.3%	106.5%	89.4%	90.7%	
混廃量	4,281.7 t	3,937.5 t	3,717.1 t	3,709.2 t	
前年度実績比	114.5%	92.0%	94.4%	99.8%	

※産廃量=(紙くず・木くず・廃プラスチック・がれき類・金属くず・ガラ陶)+(混廃)

産業廃棄物(混廃)運搬量 (t)



産業廃棄物運搬割合



環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1)二酸化炭素排出量の削減	目標 395,718.9kg-CO2	実績 408,766.0kg-CO2	達成率 103.3%	×
※ 達成率 = 実績 ÷ 目標				
環境活動計画	結果	評価	来年度の取組	
軽油	過度な速度での走行禁止	行われませんでした。	×	効率の良いルートを選択し、走行距離の短縮と燃費向上で使用量の削減に努めます。
ガソリン	一定速度での走行を心掛ける	行われました。	○	無駄なアイドリングを行わないようにし、使用量の削減に努めます。
灯油	ストーブ使用時の扇風機の使用 (空気循環)	行われました。	○	活動を継続し使用量の維持、削減に努めます。
電気	使用していない照明の消灯	行われました。	○	エアコンの設定温度を徹底し、使用量の削減に努めます。
<p>軽油は走行距離増と燃費悪化の結果、使用量の増加へとつながってしまいました。 処分場での待機時に、冷暖房(必要時)の使用が多かったことも燃費が悪くなった原因だと思われます。 ガソリン・灯油・電気の活動は行われましたが、数値目標を達成することができませんでした。 ガソリン・灯油は、1・2か月の実績が年間での実績に影響してしまいました。 電気に関しては、活動が使用量削減へとつながりませんでした。 冬期の使用量が増えてしまいました。エアコンの使用方法が影響したのだと思います。</p>				

2)社内廃棄物(可燃物)排出量の削減	目標 141.5 kg	実績 196.5 kg	達成率 138.9%	×
※ 達成率 = 実績 ÷ 目標				
環境活動計画	結果	評価	来年度の取組	
使用済み用紙の資源排出	行われませんでした。	×	来年度も使用済み用紙の資源化を強化し、可燃物排出量の削減に努めます。	
<p>前年度と比べると月4.5kgの増加となってしまいました。 資源物の割合も62%と前年度より増えていることから、全体的に増加したことになります。</p>				

3)排水量(水道使用量)の削減	目標 435.0 ^m (456.0 ^m)	実績 434.2 ^m	達成率 99.8%	○
※ 達成率 = 実績 ÷ 目標				
環境活動計画	結果	評価	来年度の取組	
効率の良い洗車	行われました。	○	来年度も効率良く洗車を行い、排水量削減に努めます。	
<p>今年度開始後に稼働車の洗車を行うことになり、目標及び活動の変更を行いました。 月毎の波はありましたが、予想に近い結果となりました。 (1期が旧目標値のため435^mを目標値としていますが、変更後の基準値は38^m×12か月=456^m/年となります。</p>				

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

4)グリーン調達 コピー用紙グリーン商品割合	目標 90.5%	実績 100.0%	達成率 110.5%	○
---------------------------	-------------	--------------	---------------	---

※ 達成率 = 実績 ÷ 目標

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
コピー用紙グリーン商品の優先	行われました。	○	来年度は目標として設定しませんが、引き続きグリーン商品の優先購入に努めたいと思います。
購入量は多くありませんが、達成することができました。			

5)受託した産業廃棄物の収集運搬量 混廃物の割合	目標 29.0%	実績 30.5%	達成率 105.2%	×
-----------------------------	-------------	-------------	---------------	---

※ 達成率 = 実績 ÷ 目標

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
排出事業者への分別排出の勧め	行われました。	○	来年度も引き続き排出事業者への分別排出推進を行っていきます。
混廃量は削減できていますが、全体量も減ったため目標達成に至りませんでした。 特に、ガラス陶磁器くず・がれき・木くずの重さが張るものが前年度の90%以下となり混廃物の割合を上げてしまいました。			

環境関連法規等の遵守状況

廃棄物処理業関連法規等の名称 (一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物)	遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可申請・更新	○
	適正処理	○
	帳簿の記載・保存	○
	名義貸し禁止	○
	委託禁止	○
	管理票の携帯・送付・保存	○
茨城県廃棄物の処理の適正化に関する条例	事業報告書作成・提出	○
茨城県廃棄物処理要項	産業廃棄物収運搬車両の表示・許可証の備付	○
水戸市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○
水戸市小吹清掃工場条例	使用許可	○
那珂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○
常陸大宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○

環境関連法規等の遵守状況

廃棄物処理業関連法規等の名称 (産業廃棄物・特別管理産業廃棄物)	遵守事項	遵守状況
千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱	県外産業廃棄物の県内処分の事前協議関連	○
埼玉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱		○
埼玉県県外産業廃棄物事前協議制度		○
栃木県県外産業廃棄物の最終処分に関する指導要綱		○
福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例		○
非飛散性アスベスト廃棄物の適正処理 石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第2版)	非飛散性アスベスト廃棄物に含まれるアスベストの飛散防止	○
環境関連法規等の名称	遵守事項	遵守状況
エネルギーの使用の合理化に関する法律	消費性能等が優れている車両の使用・合理的な運転又は操縦	○
水質汚濁防止法	汚水又は廃液による公共用水域又は地下水の水質の汚濁の防止	○
浄化槽法	保守点検・清掃	○
茨城県浄化槽指導要綱		
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	排出の抑制のために必要な措置を講ずる	○
消防法	移動タンク貯蔵所(タンクローリー)の許可・危険物取扱者・定期点検	○
水戸市危険物規制規則		
道路交通法	道路における危険を防止・運転免許証の更新	○
道路運送車両法	点検整備・自動車検査証の交付	○

違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・指導等はありませんでした。
訴訟に関しても同様ありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

評価

二酸化炭素排出の94%が軽油になっています。
走行距離の増加以上に、使用量が増えたことは残念です。
また、活動内容が目標達成につながらなかった項目もありました。
新たな活動だけを行って、今までに行ってきた活動がおろそかにもなっています。
活動目標に掲げなくても、今まで行ってきたことを継続し、目標達成に努めなくてはなりません。
目標達成が可能なのか、難しいのかの判断ができていないものもありました。
状況の変化に対応し、活動の強化や修正を行えるようにしていきたいと思えます。

見直し結果

「洗車回数」—目標を変更し対応。
「活動＝削減」—削減につながらなかった活動がありました。
「混廃割合目標の変更」—目標値を変更しましたが、重量物の減少で達成できませんでした。
「燃費の向上」—向上させることができませんでした。
「1回の未達成が年間の未達成につながらないよう」—いくつかの項目で未達成につながってしまいました。